

国道191号藤中交差点 交通事故発生状況

対策前の状況

●国道横断をする歩行者の事故が発生

—事故発生要因—

- ①市道から国道を横断する際、押しボタンに気づかず赤信号で横断する歩行者が自動車と接触。
- ②交差点が広いことから、横断歩道横から乱横断する歩行者が事故に遭遇する危険性がある。

▼藤中交差点での主な事故発生状況



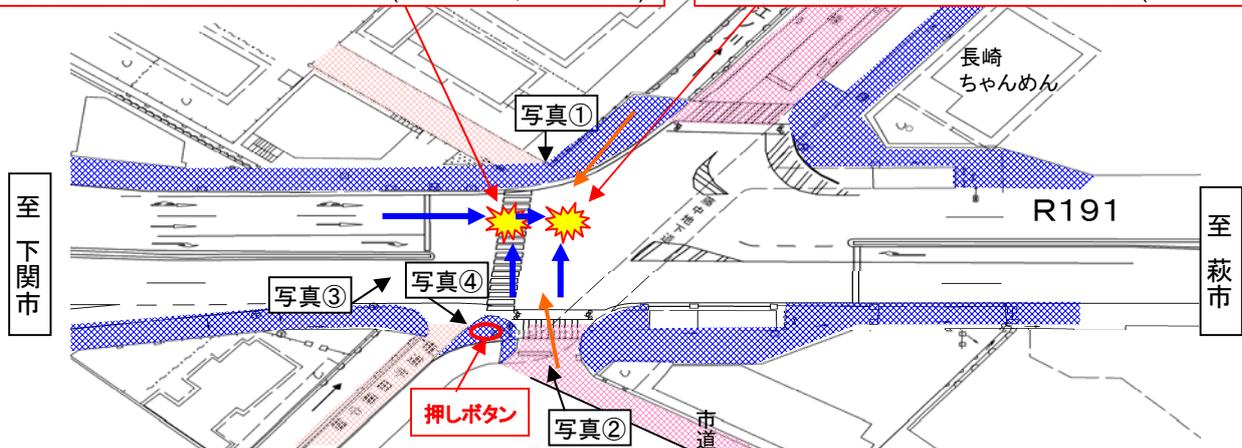
市道から横断歩道を通行せずに国道横断



市道から横断歩道を通行せずに国道横断

信号無視の横断歩行者が車両と衝突(H21:死亡,H22:軽傷)

信号無視の横断歩行者が車両と衝突(H23:死亡)



横断歩道横から国道を横断



押しボタンが車道向きに設置されているため市道からの歩行者が見えにくい

国道191号藤中交差点 交通事故対策の内容

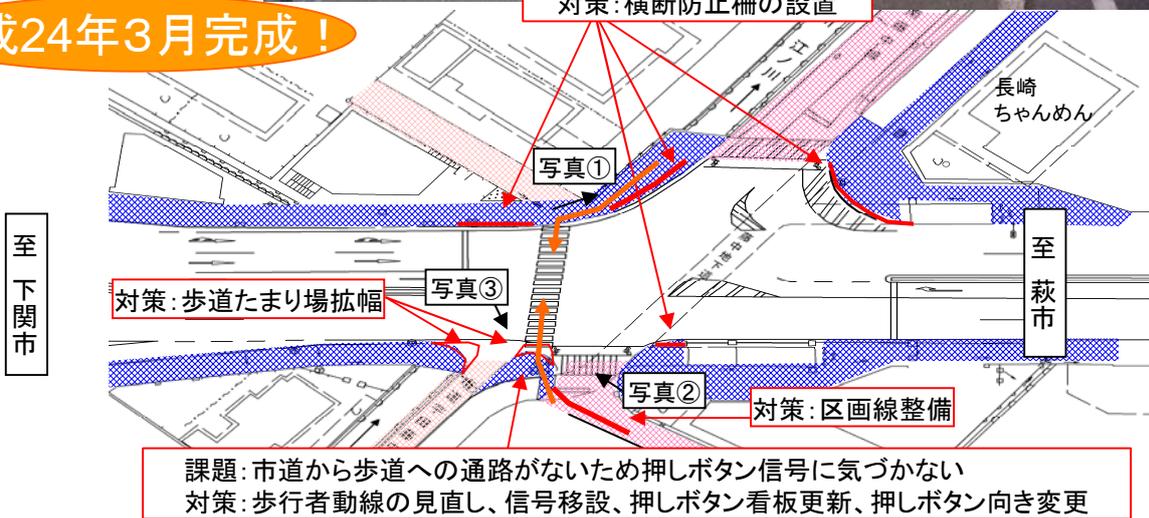
対策の内容

●歩行者の重大事故減少を目指して

▼事故対策内容



平成24年3月完成!



▼対策後の地域の声

- ・工事をしてから通りやすくなった。(60歳代男性)
- ・通行しやすくなって、地域住民は喜んでいる。(70歳代男性)

▼長門警察署の声

- ・交差点内を通行していた歩行者動線が明らかに横断歩道上となり、安全性が向上した。

参考資料

報道各位

平成24年3月19日

長門警察署
(交通企画課)

件名	改良交差点における交通安全教室の開催について
開催日時	平成24年3月27日(火)午前10時00分～
開催場所	長門市東深川 長崎ちゃんめん先交差点
出席団体	○ 地区老人クラブ関係者 約15人 ○ 国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所 萩国道出張所 2人 ○ 長門警察署 2人 合計 約20人
内容	前記実施場所は、過去3年間に高齢歩行者被害にかかる交通死亡事故が2件発生している交差点であり、国土交通省、長門市に交差点改良を働きかけた結果、このたび、交差点改良が実現したことから、同所における交通事故防止を図るため、地区高齢者に対する交通安全教室を開催するもの。
参考	荒天中止